

第2次茅野市スポーツ推進計画（案）

主な改訂点

ポイント1 計画テーマをひとつの文章にしました。

第1次計画では2つの文章により計画テーマを掲げていましたが、ひとつの文章にまとめることでテーマを分かりやすくしました。「市民1スポーツ」のキャッチフレーズは当計画を象徴するものとして継承しました。

P2

ポイント2 基本目標を4つとしました。

第1次計画では5つの基本目標がありましたが、取り組む事項を整理し、4つの基本目標としました。

第1次計画の基本目標4に設定していた「競技力の向上に向けた体制強化、指導者養成の推進」については基本目標から外しましたが、生涯にわたってスポーツを楽しむ地域スポーツ文化が根付くことを図り、地域のスポーツ人口の裾野が広がっていき競技人口が増えることで、競技力の向上に結びついていくと考えます。

「すべての市民が『市民1スポーツ』によって豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる」をテーマとし、少子高齢化が益々顕著になる中で、競技者の裾野を広げることを重要視しました。

P3

ポイント3 幼児期から中学校期までの子どものスポーツを重視しました。

第1次計画でも子ども期のスポーツ環境を重視していましたが、今計画でも趣旨を継承し、生育の過程で重要な子どもの時期のスポーツ環境を重視しました。生涯スポーツの契機のひとつである中学校の運動部活動について、部活動の地域移行を計画に盛り込み、地域全体の課題として取り組むこととしました。

P5～12

ポイント4 ライフステージの変化に応じたスポーツ推進を図ります。

第1次計画でテーマとして掲げられていた「すべての市民が生涯にわたってスポーツを楽しみ、健康に生きること」を継承し、幼児期から高齢期までのライフステージの変化に応じた施策を設定しました。また、障害者のスポーツ環境についても施策を設定し、共生社会を目指していきます。

P4、P13～15

ポイント5 スポーツの活用により地域の活性化を図ります。

標高の高い当地域ならではのスポーツの特色を計画に盛り込みました。夏季の冷涼な気候を求めたスポーツ合宿の誘致を進めるとともに、寒冷な冬季はスケートやスキー等のウィンタースポーツの魅力を生かして地域スポーツの活性化を図ります。また、2028年の信州やまなみ国民スポーツ大会をはじめとした各種スポーツイベントなど、スポーツによる交流を広げて、市内外の交流促進と地域経済の活性化を図ります。

P21～23